

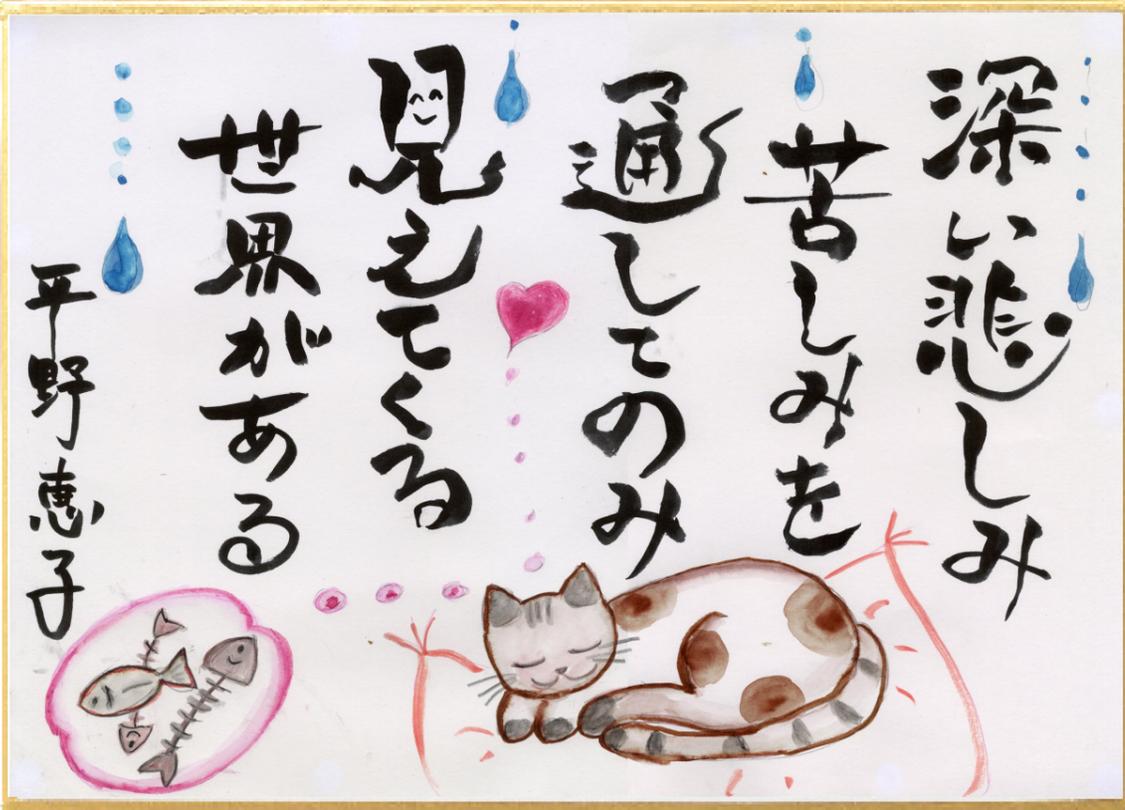
六字城

ROKUJIJO

2023/3/1

No.700

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝



『生きることの重さ』

武宮 信勝

ロシアのウクライナ侵攻から1年が経った。全世界に戦争の悲惨さが改めて問われている。一刻も早く和解決し、人と生まれるのちの尊厳に目を覚ましてほしい。

さて、SF漫画家の松本零士（本名・辰^{あきよし}）さんが命終されたニュースが伝わってきた。「宇宙戦艦ヤマト」「銀河鉄道999」など46年前、アニメがテレビ・映画ともにヒットし、私もテレビの前に釘付けになったひとりでもある。何故あれほど夢中になったのだろうと振り返るともなく過ごしてきた感ほぐえないが、壮大なロマンと精密な機械の描写には事実感動した。早速彼の名言集をふりかえって見た。

「若者はね、負けることはかんがえないものよ。一度や二度しくじっても、最後には勝つと信じてる。それが本当の若者よ」……メーテルが少年哲郎に言う言葉。

「人は、限りある命だからこそ頑張れる。略だからこそ力の限り生きて、満足して死ぬことができる。」

「人は死ぬために生まれてきたのではない。生きんがために生まれてきたのだ」

「私の作品に共通するものは、『生きることの重さ』である」

また、彼の父は東洋一といわれた旧陸軍大刀洗飛行場（福岡県）の飛行隊中隊長として、特攻隊の指導もしていたこともあり、少年零士に戦争の冷酷さを伝えていたことが漫画に「限りある命の重さ・自由の大切さ・希望のもつ力」を大切に表現しようとしていたと語っている。

今一度、殺し合い（戦争）がもたらす人の悲しみ、苦しみを縁として、御本山での「慶讃法要」に向向き、南無阿弥陀仏 人とうまれてたことの意味をたずねていこう。お一人おひとり聞き取ってまいりましょう。

法要・行事予定

3月		
11日	東日本大震災犠牲者追弔会	(8時)
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
18日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
21日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨(物故者)追弔法要 (13時30分) 武宮 信勝 (天満別院 輪番) 「西方浄土」	
25日	蓮如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)

4月		
12日	一如上人御祥月御命日 闍如上人御祥月御逮夜・常永代経	(8時) (14時)
13日	闍如上人御祥月御命日 兼日中	(8時)
14日	琢如上人御祥月御命日	(8時)
15日	宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年慶讃法要 団体参拝	
22日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
24日	綽如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)

おあさじにお参りしましょう!!
毎朝7:45分~8:30頃まで
※土、日は職員による感話があります。一人でも多くのご参詣をと、願ひ続けています。

特別永代経志納

一、法名 増上院釋尼陽和

俗名 増田 陽子

願人 増田 満

右記の通りご進納有難く
ご披露致します。

別院崇敬護持のため、大切に使用
させていただきます。

今月の伝道掲示板

汝一心に
正念にして
直ちに來れ、
我よく汝を
護らん。
——善導大師——

編集後記

3月25日より御本山にて慶讃法要が勤まります。50年前の1973年は第四次中東戦争によるオイルショックで物価があがり、混沌とした世の中であつたようです。

現在も同じ様に戦争、物価高、地震など混沌とした状態が続いています。慶讃法要が勤まり聞法されました。不安な世の中でありますが、慶讃法要を機縁に自らを問い直したい。(Y)

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

～ご縁を大切に～

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255
https://www.kyo-kusaka.jp

春季彼岸会

並

総永代経法要

兼・墓地納骨(物故者)追弔法要

日時 3月21日(火)午後1時30分

講題 「西方浄土」

法話 武宮信勝(天満別院 輪番)

輪番から一言

雪が溶けて川になって流れていきます
つくしの子がはずかしげに顔を出します
もうすぐ春ですね **ちょっとお寺に来ませんか** ♪

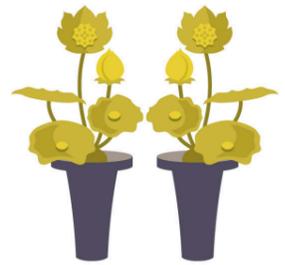
「お彼岸」という言葉も、現代人には馴染みが薄くなりつつあることは、誠に悲しいことでもあります。先人が「仏法聴聞の彼岸会」として、雪が溶け、寒が和らいだ春一番、お寺に身を運び「亡き人を偲びつつ、如来の御教えに出会う」ことを楽しみにされていたのは、もう過去の姿になってしまったのだろうか？

今一度、先人の足跡に想いを新たに、私たちがどこに向かって歩だそうとしているのか、蓮如上人の『御文』をとおして尋ねてみませんか。

つみふかく 如来をたのむ身になれば のりのちからに 西へこそゆけ
*意識(罪深い私が、阿弥陀如来を深くたのむ身にさせてもらえば、阿弥陀仏の力によって西方浄土へと往生できるのです)

Q&A

お内仏やお墓に造花をお供えしてもいいのでしょうか？



答え

お内仏やお墓には生花をお供えするのですが、夏場でお花が長持ちしない時期や、なかなかお参りに行くことができないお墓に綺麗な造花をお供えしたいお気持ちわかります。

しかし、このお供えするお花はただお内仏の阿弥陀さんや墓前を綺麗にお荘厳する為だけではありません。生花はお供えした時点から我々に命のはかなさや、尊さを教えてくださいます。それはお花の短い命が我々の生老病死を体現し、留まることの出来ない私たち

の命そのものを表現してくれています。そしてそれぞれの花の盛りや終わりが同一時期ではないように私たちの生き方、そして命の終わり方も一つではないことを教えてくれています。

造花でしたら枯れずに綺麗なままその場を彩ってくれ大変便利なのですが、私たちの留まらない命そのものを表現するものではなく、なってしまう。お花が長持ちするしないではなく、季節季節にお庭で咲くお花、育てておられるお花やお花屋さんで気に入ったお花を一輪でも結構ですでお内仏には生花をお供えしていただき、供わったお花が我々に教えを問うてくださっていることに気づかせていただければと思います。そして売っている仏花だけではなく、ご自身のお好きな季節のお花で楽しみながらお内仏やお墓を飾っていただければと思います。

(第12組 円照寺 桑田 和貴)

2月 定例法話

2月24日(金)、御講師に13組 常稱寺 今井 健太郎師をお迎えして左記の通り会議を開催致します。講題「コロナ禍からはじめます。真宗仏道入門」についてお話いただきます。

師は、仏道という言葉は剣道や柔道と同じく実践することで意味があると言われ、一般的には葬儀や法事などで亡くなった人を弔ったり、お寺にお参りすることだと思われています。

浄土真宗の仏道とは心の心地よさを見つけること(一心一向)が大切であり、意識を外側(自力)ではなく内側(他力)に向けることが浄土真宗の仏道の第一歩だと話されていました。



13組常稱寺 今井 健太郎 師

年度末 諸会議について

天満別院では、年度末にあたり事業の反省と次年度の計画について左記の通り会議を開催致します。

記

2月27日(月) 16時
教化委員会 広報部会

2月28日(火) 16時
教化委員会 青年部会

3月3日(金) 15時
教化委員会 法要部会

3月9日(木) 15時
教化委員会 研修部会

3月23日(木) 13時半
責任役員会

3月23日(木) 15時
院議会

